

カトリック六甲教会 教会報

2007

5
No.425

5月の予定

		教会暦	教会行事
2	水	聖アタナシオ司教教会博士	
3	木	聖フィリポ 聖ヤコブ使徒 憲法記念日	
4	金	みどりの日	初金 7:00 10:00 ミサ
5	土	こどもの日	
6	日	復活節第5主日	13:00 聖体奉仕者黙想会
13	日	復活節第6主日 世界広報の日	10:15 小教区評議会 第3回堅信準備会 14:00 結婚準備セミナー開始(6/3まで)
14	月	聖マチア使徒	
17	木		14:00 ベタニアの集い
18	金		婦人会遠足(篠山) 8:30 教会出発
20	日	主の昇天	
21	月		14:00 三日月会 ミサと例会
26	土	聖フィリポ・ネリ司祭	14:30 教会学校 ホールミサ
27	日	聖霊降臨の主日	
28	月		11:00 ベビーとママの集い
31	木	聖母の訪問	マリア祭 7:00 10:00 ミサとロザリオの祈り

私が見る日本のカトリック

私は日本に来て既に40年になります。特に女子の短期大学に長く勤めたことから、彼女達から学んだことを中心にお話をしたいと思います。

恐らく私の育ったアメリカと日本の若者の宗教観はそれ程変わらないと思います。ただ違うのは社会的影響がだいぶ違うのではないのでしょうか。アメリカ人の多くは生まれた時から自然にキリスト教に慣れ親しんでいます。日本人はそうではないと思います。

例えば日本においては、洗礼を受けたいが、家庭においても社会的雰囲気においてもなかなか理解してもらえないため、

受洗し難いことや、結婚の時も信者となると、相手が限られてしまう。また結婚している人でも受洗しようと思うと、その家のお墓のことで出来ないなど、社会的背景による弊害がかなりあるように思います。

よく日本では若いカトリック信者が増えないと云われていますが、焦ることはありません。彼らが結婚して世帯を持つと、もう一度キリスト教について思い出す時期があるのではないのでしょうか。

確かに以前は日本でもイエズス会がミッション系の学校を中心に、カトリックの教えを広める機会がありましたが、最

近では弱くなりつつあります。そのため受洗する生徒も減少しています。けれど六甲教会を見ていると、桜井主任司祭が「これからは信徒に任せる時代だ」と云うことを強調されているように、私も信徒が中心になって教会を盛り立てていく時代になったと思います。初代教会がそうであったように、一般信徒の力が強くならなければならないと思うのです。

私はまだ六甲教会に来て日が浅いのですが、他の教会に比べて六甲は恵まれていると思います。この聖週間の間に他の教会にも参りましたが、そこでは典礼も単なる儀式に過ぎないように思いましたが、六甲の復活徹夜祭のミサに参加した

時生き生きしているなという印象を強く感じました。

六甲教会には将来があります。若い人が多いとか少ないとかではなく、年配者であっても精神力を持って生きていくと云うことであれば希望が持てると思うのです。六甲教会は恵まれているが、恵まれているから何もしないということであってはいけないと思います。信者数が増えることばかりに気をとられず、「深められる」と云うことを考えてみてはいかがでしょうか。聖霊は私たちのために働いています。

ダニエル・コリンズ神父

各 部 会 だ よ り

👉 婦人会

今月は楽しい遠足があります。心にほのぼのとした何かが残る遠足になるよう願っています。

【予定】

- 5 / 4 (金) 初金 ミサ 10 : 00
- 5 / 18 (金) 婦人会遠足 8 : 10 集合(教会)
- 5 / 31 (木) マリア祭・ミサとロザリオの祈り
ミサ 10 : 00

【お知らせ】

聖堂入り口に、新しい年間行事予定表(『婦人会年間行事予定と週日のミサ』)を置きました。お忘れなくお取り下さいます様お願い致します。

【聖堂当番表】

- 5 / 6 (日) ミサ後 6 班
- 5 / 11 (金) 中 3、4、5
- 5 / 18 (金) 午後 1 班
- 5 / 26 (土) 午前 2 班

👉 三日月会

- 5 / 21 (月) 例会 14 時からミサ
その後、杉本師による「ローマ時代の奴隷」
ビデオ鑑賞
- 三日月会喫茶コーナー 5 / 6 (日)
9 時ミサ後 ~ 13 時 於:イグナチオホール

👉 青年会

< 定例会 >

5 / 13 (日)・27 (日) 12 : 30 ~ 14 : 00

第 5 会議室

内容 : 聖書などを読んで分かち合い

場所が第 5 会議室に変更になりましたので、
ご注意ください。

初めての方もお気軽にご参加下さい!

👉 教会学校

- 5 / 12 (土) 通常クラス
- 5 / 13 (日) 子どもとともに捧げるミサ
- 5 / 19 (土) 通常クラス
- 5 / 20 (日) 遠足
- 5 / 26 (土) ホールミサ

👉 社会活動部

- 5 / 11 (金) 10:00 ~ 社会活動部連絡会
今年度の活動等について!
- 各ボランティアグループの責任者の方はご
参加をお願いします。

👉 典礼部

< 典礼奉仕者の集いの日程変更 >

7月1日(日)の典礼奉仕者の集いは、
中止いたします。

日時：6月30日(土) 13:30分～15:30

場所：イグナチオホール

指導：オマリー神父様

典礼奉仕者(案内係・海星病院を含む)の方は、
1回だけの開催になりますので、ご参加よろしく
お願いいたします。

新議長団のご紹介

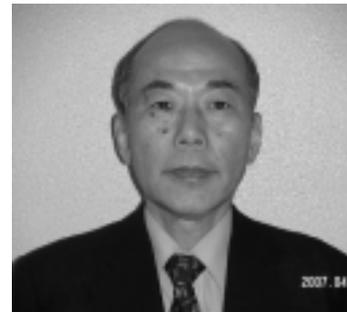
3月18日小教区総会にて、新評議会議長および副議長
が選出・承認されましたので、ご紹介いたします。



評議会議長 高山吉彦



副議長 山本順子



副議長 蛭田 武

< ご挨拶 >

小教区評議会議長 高山 吉彦

このたび鈴木肇前議長の後をうけ、小教区評議会議長を務めさせていただくことになりました。

桜井神父様のご指導を得て副議長の蛭田武様、山本順子様、信徒会、専門部会の役員の方々と力を
合わせて、私達の共同体である六甲教会評議会の円滑な運営を行っていく所存でございますので何卒
よろしくお願い申し上げます。

本年度の神戸地区宣教司牧評議会の活動方針は『次世代の青少年を育成するため、子どもの信仰教
育とそれを担う若い父母を支援すること』です。私達の六甲教会でもこの課題に真摯に取り組んでい
きたいと思っておりますので、皆様方の様々なご意見やアイデアを是非とも評議会の方にご提示く
ださるよう期待しております。

主イエスの第一の戒めである「心をつくし、精神をつくし、思いをつくし、力をつくして、主なる
あなたの神を愛せよ」に近づけるように、私どもの教会を導いてくださるよう主に祈りながらご挨拶
とさせていただきます。

<お 知 ら せ>

【社会活動部より】

5 / 2 (水) 10:00~ 手芸の集い (第1・2会議室)

参加自由。お気軽にご参加下さい。

原則として第1水曜日

5 / 17 (木) 14:00~ ベタニアの集い (イグナチオホール)

奇数月第3木曜日

お祈りと茶話会

5 / 12 (土) 10:00~ 炊き出し (イグナチオお台所)

小野浜グラウンドにて配食や、おじさん達とのお話し相手だけでもOKです。

毎月第2土曜日

5 / 20 (日) 9:00 ミサ後 手作りコーナー (イグナチオホール)

第3日曜日9時ミサ後

お弁当・食品。小物販売

5 / 25 (金) 14:00~ おにぎり作り (イグナチオお台所)

須磨方面夜回り支援

【養成部より】

特別講演会

テーマ：「憲法と教育基本法を福音の視点で考える」

講 師： 光延一郎神父 (上智大学教授)

日 時： 2007年5月20日 (日) 午後1:30より

場 所： カトリック六甲教会大聖堂

絵画教室作品展

日程： 2007/5/17(木)午後~5/30(水)午前

場所： イグナチオホール

教会の絵画教室(六美会^{むつみかい})では、日本画の信国睦子先生に親しくご指導頂いています。この3,4年来、メンバーに新しい方も増え、また去年は初めて念願の(?)「人物」にも挑戦しました。拙い作品ですが、ぜひご覧ください。

(六美会一同)

聖なる過越しの三日間



4 / 5 聖木曜日 洗足式



4 / 6 聖金曜日 十字架の礼拝



4 / 7 復活徹夜祭 光の祭儀

おめでとうございます！

4月8日復活徹夜祭では9名の方が、翌日の復活の主日では6名のかわいい子どもたちが洗礼を授かり、わたしたち共同体の仲間入りをされました。





おめでとう！

外は汗ばむような春爛漫の季節。復活節第2主日（神といつくしみの主日）のミサの中で20名の子供達の初聖体と祝福式が行われた。教会の宝である子供達の笑顔がまさしく春の陽気のように輝き、喜びと明るさとなって聖堂内に広がり、会衆をあたたく包んでくれた。



祝福を戴く



初聖体を戴く



20名の初聖体・祝福された子供達と桜井主任神父、オマリー神父、赤松神父



ミサの後、ホールでは祝賀式

📖 図書紹介

『やさしさの愛につつまれて』

バレンタイン・デ・スーザ著
女子パウロ会

どの頁を開いても、短く平易な文の中に“恵みを知る”という知恵がいつまいつまっています。静かにゆっくり味わうと、安らぎ、慰め、癒し、暖かさ、喜び、光、感謝が訪れ、幸せな思いが広がってゆきます。耳の痛いこと、とても実行は難しいと思われることも多々ありますが、“やさしさの愛”により頼みつつ、あきらめず、時間をかけて少しずつでもチャレンジしてゆけば、より豊かな人生に導かれて行くだらうとの希望も与えられます。

この本は、神父様の講話を聴かれたイグナチオ教会の方々が集めて下さったものです。軽く小さいので、病人の方々にもよく、魂の平安は、自然治癒力を高めることでしょう。世界中の人々の心に平和を運ぶ贈り物としても最適と思われます。
(荒川 淑)

中高生会 練成会の感想

私は広島に行くのが初めてでした。少し原爆の事は、知っていたけれど、くわしくは知りませんでした。私は中高生会の練成会も始めてでドキドキしていました。

広島に行ってみると、みんなと仲良くすることができました。

原爆ドームは、れんがと鉄しか残っていませんでした。被爆者証言で一番心に残っているのは、地面が2日たっても熱かったと言うことです。私は原爆はただ人がとけ、建物はくずれるのだと思っていました。地面もが熱かったなんて、知りませんでした。しかも、人が歩けない位熱いなんて、とても信じられないと思いました。

私は、広島に行って原爆のおそろしさや怖さを知りました。私も少しだけでも原爆についているんな人に教えて行きたいです。
(松井)

私は、当時の人達が一生懸命生きようとしていた事、必死に生きていた事を改めて知りました。そう知った理由の一つに被爆された方が教えて下さった原爆投下後の広島の人達の様子や、ご自身がされた救助活動等です。その救助活動とは、ガラスの破片でけがをされた方々や、ビルの部屋の中にとじこめられ、どうすることもできず、部屋の隅で、立ちつくしている人達を集め、ホースとバケツで水をその人達の顔にかけて、3度の竜巻をしのいだ事等です。

私は、練成会に行って、平和の大切さ、命のおもさを考えることができました。又、私が今生きていることは、奇跡だと思いました。これからも、もっと命を大切にしようと思いました。

(深山)

私は練成会2日目の夜から参加しました。

新中1の時にも、広島で練成会がありました。その時は学校の登校日と重なっていて、行けなかったもので、今年に行きたいと思っていました。2日目の夕方、広島駅についてすぐに、原爆ドームと石碑を見ました。教科書ぐらいでしか見たことがなかった原爆ドームは、大きさと、爆発の威力というものにびっくりしました。一部残っていることが本当にすごいことだということも感じました。原爆の子像には、いろんな学校から届いた千羽鶴があり、みんな今も平和を願っているということが分かりました。

私が一番心に残っていることは、平和資料館です。一つは、今でも核実験をしようとしている国に対して広島市長が、止めようとする内容のメールを送っているということです。追加で最近のものもいくつか見ました。広島を中心に私たちが世界にいろんなことを伝えなければいけないということを感じました。あと、原爆の被害というものが印象的です。吉永小百合さんのナレーションと目の前に原爆で皮ふが焼けてただれている人の模型を見た時、本当に気持ち悪くなりましたが、原爆というものが人をここまで傷つけるのかと思いました。

広島は、今までは、大きなビルとか建って、ドームなどは、その時をあらわしています。戦争を経験した人も高年齢になっています。私たちは体験していないから知らないではなくて、「知らなければならぬ」ことだと思います。そして知って、私たちを中心に世界に伝えて、戦争を止めたいと思います。
(梶田)

今回、この練成会に参加して一番心に残ったことは、被爆者の方が「平和とは命を大切にすること」と言ったことでした。

今でも、世界のあらゆる所でいろんな国の偉い人達が集まって世界の平和のために話し合っています。いろんな理屈を並べても、平和とは本当にこんなにも簡単なことなのに、「命を大切にすること」とい

うことがあまりにもあたり前すぎて忘れてしまっているのかもしれませんが。理解するのは簡単だけど世界中の人達が実際に自分達の敵の命を大切にするのはとてもむずかしいことだと思います。だからこそ、いつか世界が本当に平和になるように、少しずつで今自分にできることをしていきたい、と思いました。

(王子)

今回の錬成会は行き先が何度も行ったことのある広島だったということもあり参加する気がありませんでしたが、今年追い出しをうけるメンバーは年も近くたくさんお世話になっているということで是非しっかり追い出したい!!という気持ちがあり、ただそれだけの気持ちで参加をしました。いざ行くと何度も行った資料館やドームも今までの目線や感覚が全く違い、新たな発見も多くありました。今まで『なんとなく』悲しいという原爆のイメージからはっきりとその悲しさを感じさせられることがたくさんあったように思いました。そして出来るだけこの被害をたくさんの人に知ってもらいたいと思うことが出来ました。またこの活動を忘れず今後につなげていければと思います。そして追い出しの企画もたくさんの方の支えを受け、とても楽しいものにすることが出来ました。本当にありがとうございました。

(橋岡)

今回の錬成会は私にとって3度目の広島、小6の夏、中1の錬成会からおよそ4年の月日を開けての訪問でした。3度目ともなるとあまり目新しいことはないかも、等と行く前は思っていたのですが、しかし、終わってみれば今回が一番実りのあったように感じます。資料館では、今まで特に注目していなかったアメリカ側の原爆投下までの流れを知ることが出来ましたし、又、平和記念公園の石碑を見て回ったのも初めてでした。中でも、やはり興味深かったのは11聯隊の石碑です。日本は原爆の被害者なのだ、原爆の悲惨さは世界唯一の被爆国である日本こそが一番理解しているのだと主張するような印象を与える資料館周辺一帯の近くに、決して日本だけが大きな被害を被ったわけではないのだと、決して日本は被害者だけではあり得ないのだと言うことを残すあの石碑は、(これは言いすぎかもしれませんが)下手したら、世界文化遺産に指定され手厚い保護を受けている原爆ドームとほぼ同等の見学する価値があるのではないのでしょうか。戦争においては必ず双方が被害者であり加害者であるのだと、改めて実感させられました。

私は中高生会の年間行事の中で錬成会が一番好きです。一つのテーマについて参加している全員が真剣に話し合い、分かち合うようなことが出来る機会は他では中々ありませんし、いつも一つの角度からではなく、思ってもみなかった角度から話し合うことが出来るのも、とても良い経験になると思います。せっかくこのような行事が身近で行われているのですから、是非一度参加してみてください。

(井上)



みんなの広場

「信徒奉仕職」の一環として、みなさまの自由な分かち合いの場としての「みんなの広場」にご寄稿ください。

特別な出来事でもなくともかまいません。日々の暮らしの中で、神さまを感じる瞬間を教会報の場を借りて、広くみんなで分かち合いましょう。

原稿は、広報部宛で受付にお届けください。手書き、ワードデータ、メール、ファックスのいずれの形でもお受けいたします。 (広報部)

最近、二つの事を通して“人間の営み”について考え続けている。

一つは、先日夕食の支度をしながら何気なく見ていたニュースからで「2050年には人類の多くが水不足で命を落とし、一方大洪水で多くの死者が出るだろう。」というものである。2050年といえば、私はまだ(?)80代半ばで可愛いひ孫の顔を見ている頃だ。地球温暖化が叫ばれて久しいが、私達はこの地球を果たして守っていけるのだろうか？私が日ごろ心がけている事といえば、ごみの処理の仕方の工夫や長く使える物を選ぶ事など本当に小さなことである。

もう一つは今、神戸市立博物館で開催中の“ミイラと古代エジプト展”に行つてのことだ。私の目の前には約3000年前に亡くなったネスペルエンデブウという男性のミイラの棺が横たわっていた。私の目から見ると、3000年も前に描かれたとは思えない、緻密で鮮やかな棺だ。私は美術館を訪れる度に、現代の私達はこのような何世紀も後まで残せるものがあるだろうか、という事を考えさせられる。

消費も経済の発展のためには大切だが、自然の一部である知恵ある私達人間は、それを育み、守り、伝える使命があるように思う。もう少し日々の暮らしを丁寧に、自然と向き合っていく必要があるのではないだろうか。しかし、便利さと消費に慣れてしまった私達。私達はこれから、人としてどのように歩んでゆくのだろうか？皆さんはどのようにお考えですか？ (古寺)

<小教区総会(3/18)報告についてのお詫びと追加訂正>

教会報4月号掲載の3月18日小教区総会報告中に、発言者のご意見にもれがありましたので、ここに追加報告申し上げます。掲載もれのあったご意見は、7時ミサに関するものでした。議事録に不備がありましたこと、特に発言された方、7時ミサに参加されている方々に、お詫び申し上げます。

(広報部)

議事(5)これからの六甲教会における「司牧」と「宣教」

・ 事前アンケート結果報告

意見：「7時のミサがなくなる可能性について、その日程をみつめてのことなのか？」

議長：「具体的に話をつめているわけではない。司祭数が減り、将来、現状維持が難しくなることを踏まえてのアンケートである。」

意見：「7時ミサに出ていない評議会のメンバーだけで話し合うのではなく、実際に7時ミサを大切にしている方々の意見を尊重して頂きたい。」

東チモール・アッサベ教会建設募金 御礼とご報告

大阪大司教区・池長大司教様のご依頼を受け、2月17日より2週間、皆様方に御協力を頂きました募金を、4月2日に送金させていただきました。

依頼を受けた募金期間が御復活までとなっておりますが、四旬節献金とも重なる為募金依頼に立つのは2週のみとし、期限まで教会会計にて保管して頂いておりましたが、去る4月2日に教会会計より大阪大司教区へ振り込んで頂きました。保管期間中も何人かの方々が、受付までお届け下さいました。10万円を超える多額の募金をお寄せ下さった方が二人もおられたこと、色々な場で、様々な形で想いを表して下さいました事に感謝申し上げます。

皆様方の祈りの籠められた募金が、はるか東チモールの地で教会聖堂という形で出来るだけ早く実を結びますことを、祈りのうちに見守っていきたくと存じます。遅くなりましたが、ここに取り纏めをさせて頂いた社会活動部として、御協力下さいました皆様方に心より御礼申し上げますと共に、最終報告をさせていただきます。
(社会活動部)

~~~~~・~~~~~・~~~~~・~~~~~・~~~~~

## 手作りコーナーから感謝とご報告

毎月第3日曜日にイグナチオホールの片隅で手作りのものを販売していますコーナーから感謝とご報告を申し上げます。

毎回、手作りのお弁当、お寿司や手芸品などを用意し、また贈答品のご寄付をいただき、信徒の皆様にお買い上げ頂いています。いつも暖かいご支援、本当にありがとうございます。

昨年度はインドネシアの留学生兄弟の生活の一部を支援いたしました。

今年も、細々とですが、各施設への寄付を続けていくことができますように祈りながら活動をしていきたいと思っております。今後ともよろしく願いいたします。

感謝のうちに  
手作りコーナー・メンバー一同

寄付先(平成18年1月~平成19年3年)  
エマウス  
アキとジョニーを囲む会  
子供の里友の会  
六甲教会  
神戸の冬を支える会

教会報月6月号の発行は、6月3日(日)です。  
編集会議は5月27日(日)です。  
記事原稿は、5月20日(日)正午までに信徒会館事務室へご提出願います。  
(広報部)

<http://www.rokko-catholic.jp>

カ ト リ ッ ク 六 甲 教 会  
〒657-0061 神戸市灘区赤松町3-1-21  
電 話 078-851-2846  
発行責任者 桜井彦孝神父  
編 集 広 報 部